

## 若手プロジェクトリーダー6期生研修 プログラム概要

### 研修のねらい

#### 【1日目】

- ・プロジェクト成功のカギとなる“協働”について学び、その視座と具体的なノウハウを習得する。
- ・プロジェクトを推進するうえで重要な協働のポイントと、その本質に気づく。

#### 【2日目】

1日目の講義や事例紹介を踏まえ、フィールド実習に向けた準備をする中で、協働という視点から客観的にプロジェクトをとらえる視点を養うとともに、6期生共通の課題解決についても学ぶ。

#### 【第1回研修+フィールド実習のねらい】

- ・様々なステークホルダーとの協働の現場を知り、自団体のプロジェクトと比較検証する。
- ・今までの若手PL研修で学んだ内容を総括し、プロジェクトの現場へ還元する。  
(・6期生の関係性を深め、助成終了後も相互に研鑽できる関係性を構築する)

### 期待する効果

- ・ 協働について、自分事として捉えることができる。
- ・ 自団体のプロジェクトを振り返り、協働の視点から客観的にプロジェクトをとらえ、課題の洗い出し、プロジェクトの発展、自走化に向けて具体的に描くことができるようになる。
- ・ フィールド実習のヒアリング候補先の協働事例を通して、自団体のプロジェクトを見直し、課題を再認識するとともに、フィールド実習先のプロジェクトと比較検証することができる。

7月8日《1日目》			
事前課題		ステークホルダー確認（研修生各自）	
9:45		zoom ミーティングルームオープン	事務局
10:00		合同オリエンテーション	
11:00		研修開始	基金・山崎
11:00	15分	研修のねらい・全体説明 第1回研修からフィールド実習までの流れ説明	
11:15	60分	情報提供「協力関係の作り方」	池本氏

12:15	60分	お昼休憩	
13:15	60分	・情報提供・プロジェクト課題の情報提供 ・マインドセット（フィールドでの学びの意義）	WENS 山崎氏
14:15	45分	休憩	基金・山崎
		研修生の情報共有（個人ワーク）	
15:00	120分	山崎氏と池本氏のセッション	池本氏 WENS 山崎氏
17:00	20分	質疑応答&研修生内での情報整理	池本氏
17:20	10分	事務連絡&1日目研修クロージング	基金・山崎
17:30		研修終了（1日目）	

7月9日《2日目》			
10:00		研修開始	
10:00	10分	チェックイン グット・モーニングレポート *今日の講師&アシスタントの紹介	基金・山崎
	5分	2日目研修の全体説明 *今日の主旨&ゴール説明 *スケジュールの確認	今永氏
10:15	45分	ワーク① 昨日のセッションに参加しての共有ディスカッション 《個人ワーク→ブレイクアウトセッション→全体》	今永氏 （池本氏、WENS 山崎氏、寒河江氏はオブザーバーとして各グループへ入る）
11:00	20分	レクチャー① フィールド実習の行程の紹介	今永氏
11:20	10分	休憩	
11:30	50分	ワーク② 訪問時のグループ決め ※時間が余った場合は、ブレイクアウトセッションでメンバー挨拶	今永氏

12:20	70分	お昼休憩	
13:30	90分	ワーク③ フィールドワークに向けた計画づくり 《全体→グループワーク》 ※休憩は各グループで	今永氏 (池本氏、WENS 山崎氏、寒河江 氏は各グループ へ入り、適宜ア ドバイスや情報 提供する)
15:00	20分	ワーク④ フィールド実習での取材プランの発表	今永氏
15:20	20分	まとめ&今後に向けて	池本氏、 WENS 山崎氏、寒 河江氏
15:40	5分	事務連絡&クロージング	基金・山崎
15:45		研修終了	

## 6期生プログラム 講師紹介

### 池本 桂子 氏

新卒で公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会に入職。会員管理やイベント運営を3年間経験後フリーランスに。複数の環境NPOで、会計・総務・会員寄付者対応・人事・労務などバックオフィス業務に従事した。並行して、市民活動の法人制度や税制度にも関心をもち、認定NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会の会員としても活動。2010年にフルタイム職員となり、NPO法やその税制など、各種の政策提言活動に従事。2019年に代表理事を務めて2020年に退職。現在は再びNPO支援のフリーランスに。市民活動の力の源「参加と協力」の普及・推進に努めている。



**山崎 宏 氏（（特非）ホールアース研究所 代表理事）**

富士山麓での自然ガイドをベースに、企業の環境活動支援や行政が主催する環境関連研修の運営・講師なども多数担当。近年は組織マネジメントにも力を注ぐ。2011年6月より事務局長、2014年4月よりホールアース研究所代表理事。静岡県総合教育センター協議会委員、NPO 法人日本 NPO センター副代表理事、Panasonic NPO サポート ファンド環境分野選考委員長なども務める。



**今永 正文 氏（（特非）ホールアース研究所 事務局次長）**

一般財団法人日本野鳥の会・横浜自然観察の森レンジャーからキャリアをスタートし、NPO 法人しずおか環境教育研究会職員、プロセスコンサルタント WARAKU 代表、一般社団法人日本環境 NPO ネットワーク事務局長を経て現職。様々な環境団体での経験をもとに、多様なステイクホルダと協力しあいながら、環境及び地域の課題解決・価値提案・仕組みづくりを目指している。一般社団法人富士山南陵の森フォレストセイバー事務局、富士宮市地域循環共生圏推進協議会ファシリテーター など



**6 期生研修 アシスタント**

**寒河江 大亮 氏（（特非）ホールアース研究所 職員）**

環境省田貫湖ふれあい自然塾の運営業務を担当。野生生物を題材にした環境教育プログラムを企画・運営し、年間約 2000 人に実施。未就学児から中高年、親子を対象に日常生活でも自然楽しむきっかけを提供している。

プログラムの企画や実践方法などの指導者養成の講師も務める。2014 年より現職。



## 若手プロジェクトリーダー7期生研修 プログラム概要

### 研修のねらい

- ・ 活動内で抱える課題を明確に把握し、課題解決をするための方法を理解し実践する。
- ・ 課題解決に向けた実践の進捗状況を共有し、相互にエンパワーしながら活動内容を洗練する。
- ・ 事業計画やマーケティング、組織体制など非営利組織の事業経営について学び、担当する事業における中長期的な方針と短期的なアクションプランを策定できるようになる。

### 期待する効果

- ・ 活動で抱える課題の解決方法を理解し、団体内外に対しての必要な働きかけを行うことができるようになる。
- ・ 成果創出に向けた自身の課題を特定し、事業推進の中での成長目標を設定し、実践できるようになる。

7/8 (木) [1日目]		
10:00~10:50	<b>合同オリエンテーション</b> ・ 開会の挨拶、事務連絡 ・ 研修の趣旨説明 ・ 基金スタッフの紹介 ・ 講師、アドバイザー挨拶 ・ 研修生挨拶	地球環境基金
11:00~12:00	アイスブレイク (自己紹介)	堤 大介 氏
12:00~13:00	昼食	
13:00~16:30	<b>講義</b> ・ NPO 経営戦略全般 (ビジョン・ミッション、事業計画、成果指標、マーケティング、ファンドレイジング、人員体制など含む)	堤 大介 氏
16:30~16:45	まとめ・事務連絡	堤 大介 氏 地球環境基金

7/9 (金) [2日目]		
10:00~12:00	<b>事務連絡</b> <b>講義 (1日目の続き)</b> ・ NPO 経営戦略全般 (ビジョン・ミッション、事業計画、成果指標、マーケティング、ファンドレイジング、人員体制など含む) ワーク (重点取組課題・目標・スケジュール作成)	堤 大介 氏
12:00~13:00	昼食	
13:00~16:00	個別相談/ワーク & 相互フィードバック	堤 大介 氏
16:00~16:30	相互発表	
16:30~16:45	まとめ・事務連絡	堤 大介 氏 地球環境基金

## 7期生プログラム 講師紹介

### 堤 大介 氏 ファンドレイジング・コンサルタント/上級ウェブ解析士

1986年北海道生まれ栃木県育ち 筑波大学第一学群社会学類卒。大学卒業後、2010年に楽天株式会社に新卒入社。新規事業開発系部門にて広告企画、マーケティング、webディレクション、事業開発などに従事し6年間勤務。2011年よりプロボノとして複数のNPOの支援、立ち上げを経験。2016年5月より株式会社PubliCoにて、非営利組織の戦略コンサルタントとして2年間従事。2018年4月より株式会社STYZに参画し、非営利組織向け寄付プラットフォームSyncableのサービス開発、コンサルティング部門の立ち上げを行い、2019年5月に公益組織支援のコンサルタントとして独立。支援テーマはビジョン・ミッション策定、事業計画立案、ファンドレイジング、Webマーケティング、ボランティアマネジメントなど。



## 若手プロジェクトリーダー8期生研修 プログラム概要

### 研修のねらい

#### 【通年】

- ・ プロジェクトリーダーとしての役割を認識し、成果を生み出す上で必要なモノを把握する
- ・ 自団体のプロジェクトを把握し、成果目標までの道筋を理解する

#### 【本研修】

- ・ 自分自身の強みとキャリア形成を考える
- ・ プロジェクトの3年間の目標と計画を組み立て直す  
+
- ・ 8期生の同期間の関係性をあたためる！

### 期待する効果

- ・ 強みを理解することで、プロジェクトの中での自身の立ち位置や出来ることを把握する。また今後のキャリアをイメージすることで、担当している3年間のプロジェクトやその先のプロジェクトの発展、自走化に向けた道筋をイメージすることができるようになる。
- ・ 自身が担当するプロジェクトのビジョンミッションを整理・把握し、プロジェクト内容をロジカルに考えることができるようになる。  
+
- ・ この研修が安心・安全な場であり、安全な場づくりに全員が協力することを共有するとともに、3年間の研修をともにする仲間として、互いを理解し研鑽しあえる関係性の基礎ができる。

7/8 (木) [1日目]		
10:00~11:00	合同オリエンテーション ・ 開会のあいさつ・事務連絡 ・ 研修の趣旨説明 ・ アドバイザー、講師、基金スタッフの紹介	地球環境基金
11:00~12:00	午前の部 ・ チェックイン・アイスブレイク ・ ストレングスファインダーの共有と解説	草野氏/ezorock

12:00~13:00	昼食	
13:00~17:00	午後の部 ・チェックイン・アイスブレイク ・ストレングスファインダーの共有と解説 ・チームビルディングトレーニングの開設 (マネージャーゲーム(仮)) ・講義「環境系 NPO における特徴・課題とリーダー像」	草野氏/ezorock
17:00~17:00	事務連絡	地球環境基金
17:00	終了	

7/9 (金) [2日目]		
9:30~12:00	午前の部 ・講義「成果の道筋と仮説」 (ロジックモデル+リッチピクチャー) ・プレゼン準備	五井渕氏/CR ファクトリー
12:00~13:00	昼食	
13:00~16:30	午後の部 ・プレゼンの全体共有とフィードバック ・アクションプランシートの作成・共有 ・全体のまとめ・振り返りのダイアログ	五井渕氏/CR ファクトリー
16:30	事務連絡	地球環境基金
16:30	終了	

## 8 期生プログラム 講師紹介

### 草野 竹史 氏/ NPO 法人 ezorock 代表理事

1979 年札幌市生まれ。酪農学園大学環境システム学部経営環境学科卒。

在学中に国際青年環境 NGO「A SEED JAPAN」の環境対策イベントに参加したことをきっかけに 2001 年に仲間とともに環境団体「ezorock」を設立。北海道最大級の音楽フェスティバルにおける環境対策活動を中心に展開。大学卒業後、建設コンサルティング会社に就職し、まちづくりや環境、観光などの調査に携わる。2005 年に退社し、半年間組織経営の勉強をした後、06 年 4 月に環境 NGO ezorock 代表理事に就任。13 年に NPO 法人取得。若者の社会参加を促進し、次世代の声を社会に届ける仕組みづくりを目指しながら環境活動を実施している。



### 8 期生研修 メンター

### 五井 利明 氏/ NPO 法人 CR ファクトリー 副理事長

2011 年 NPO 法人 CR ファクトリーに参画。数多くのコミュニティやプロジェクトを中核として運営してきた実績から、幅広い知見やバランス感覚に定評がある。また、行政職員としての勤務経験から、市民・行政の協働を両面から支援できることに強みがある。認定 NPO 法人かものはしプロジェクト日本事業マネジャー、一般社団法人 JIMI-Lab 代表理事

